

2019年度 課別行政評価シート

部名	生涯学習部	課名	生涯学習センター	歳出目名	生涯学習センター費
				事業類型	a.施設所管型

1.組織概要

組織の使命	市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続け、支え合うことができるよう支援します。
所管する事務	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習に係る全体計画の立案及び推進に関すること ◆市民大学事業その他の生涯学習に係る講座、講演会等の実施に関すること ◆生涯学習に係る活動の支援、各種団体及び関係機関との連絡及び総合調整に関すること ◆生涯学習に係る情報の集約及び市民への提供、相談業務に関すること ◆生涯学習センターの施設、設備管理並びに市民への利用提供に供すること

2.2018年度末の総括

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆生涯学習センターの認知度向上、施設利用者数の増加のためには、現状実施しているもののほか、新たな宣伝、周知方法に取り組む必要があります。
 ◆生涯学習センター以外の地域での講座実施を継続して進めていますが、「町田市生涯学習推進計画2019-2023」を踏まえ、更に地域との連携事業を拡大していく必要があります。
 ◇社会情勢の変化や「町田市公共施設再編計画」等を踏まえ、生涯学習センターの役割や事業内容の見直しに向け検討していく必要があります。

②課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

◆幅広い世代を対象とした認知度の向上、施設利用者の増加を目指して、スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進を図るほか、SNSによる情報発信の運用に取り組みます。
 ◆地域課題の解決に向け、市民提案型事業「講座づくり★まちチャレ」のほか既存の連携に加えて新たな地区協議会との連携事業実施に取り組めます。
 ◆「町田市公共施設再編計画」に基づく取り組みの一環として、2019年度に陶芸講座の方向性を検討します。

3.事業の成果

成果指標名	単位	区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
生涯学習センターの施設利用率	%	目標	-	-	-	増	増	主催事業、施設貸出等で生涯学習センターを利用した割合
		実績	78	76	77			
地域で実施した講座の延べ講座数	講座	目標	-	12	-	13	14	生涯学習センター以外の場所で地域団体との連携や地域課題の解決を目的に実施した主催講座等の延べ講座数
		実績	12	13	13		(2021年度)	
市民提案型事業「まちチャレ」実施数	事業	目標	-	-	5(2)	6(3)	8(4)	町田市教育プラン2019-2023、町田市生涯学習推進計画2019-2023における重点事業。()は地域での実施数。
		実績	5(0)	5(1)	5(2)		(2023年度)	

成果の説明
 ◆生涯学習センターの認知度向上、施設利用者数増加のため、QRコードを掲載したPRカードの配布などの周知を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、30日間施設を休館したことにより、利用者数は2018年度比8,862人減の156,168人に留まりました。施設利用率は2018年度より1%増加し高水準を維持しています。
 ◆鶴川地区で地区協議会と連携し6講座を実施したほか、市民提案型事業「まちチャレ」5講座中2講座及び市民大学2講座など、合計13講座を地域で実施し、講座の地域展開を進めました。
 ◆講座プログラムの一部見直しを行い、陶芸事業を廃止するとともに、陶芸スタジオの活用に向けた検討を始めました。
 ◆生涯学習センターの役割及び事業の見直しにあたり、生涯学習審議会に「町田市生涯学習センターに求められる役割」について諮問し答申を受けました。併せて生涯学習センター運営協議会において「市民ニーズに沿った生涯学習センターの事業の推進」について検討しました。

4.財務情報

①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	2017年度	2018年度 A	2019年度 B	差額 B-A	勘定科目	2017年度	2018年度 A	2019年度 B	差額 B-A
人件費	155,244	157,216	159,210	1,994	地方税	0	0	0	0
うち時間外勤務手当	8,812	8,655	10,091	1,436	保険料	0	0	0	0
物件費	39,652	41,437	39,808	△ 1,629	国庫支出金	0	0	0	0
うち委託料	17,970	17,651	16,303	△ 1,348	都支支出金	5,515	4,883	4,864	△ 19
維持補修費	3,501	19,852	4,628	△ 15,224	分担金及負担金	0	0	0	0
扶助費	0	0	0	0	使用料及手数料	11,055	12,422	11,420	△ 1,002
補助費等	65,200	62,519	63,480	961	その他	3,934	3,428	5,679	2,251
減価償却費	17,055	18,507	18,507	0	行政収入 小計(a)	20,504	20,733	21,963	1,230
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	△ 270,610	△ 296,691	△ 278,265	18,426
賞与・退職手当引当金繰入額	10,462	17,893	14,595	△ 3,298	金融収支差額(d)	△ 7,517	△ 6,234	△ 4,948	1,286
行政費用 小計(b)	291,114	317,424	300,228	△ 17,196	通常収支差額(c)+(d)=(e)	△ 278,127	△ 302,925	△ 283,213	19,712
特別費用(g)	0	0	0	0	特別収入 小計(f)	0	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	△ 278,127	△ 302,925	△ 283,213	19,712

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	生涯学習センター光熱水費 17,294千円 生涯学習センター施設貸出・管理業務委託 11,572千円 町田市立学校開放教室管理業務委託 1,561千円 陶芸スタジオ光熱水費 670千円 舞台機構保守点検業務委託 500千円 など	決算額の主な内訳	町田センタービル設備修繕負担金 3,328千円 7階ホール給気ファン用インバータ交換修繕 506千円 8階学習室5空調機膨張弁修繕 422千円 屋上冷却塔KCT1・2水道メーター交換 140千円 6階電光掲示板前通路誘導灯取替 105千円 など
主な増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、30日間施設を閉館したため、生涯学習センター光熱水費が243千円、生涯学習センター施設貸出・管理業務委託費管理委託料が562千円減少。 陶芸講座廃止により、陶芸スタジオ光熱水費が49千円減少。	主な増減理由	共用部分の防災盤交換修繕を実施したため町田センタービル設備修繕費負担金が1,768千円増加。 占有区画において冷温水器、空調設備等の大きな工事・修繕を行わなかったため、維持補修費が15,224千円減少。
勘定科目	補助費等	勘定科目	使用料及手数料
決算額の主な内訳	町田センタービル管理費負担金 46,339千円 障がい者青年学級担当者謝礼 5,258千円 市民大学講座講師謝礼 2,795千円 さがまちコンソーシアム運営支援負担金 2,500千円 障がい者学習実践研究指導謝礼 1,844千円 など	決算額の主な内訳	公民館施設使用料 10,956千円 附属設備使用料 464千円
主な増減理由	協定見直しによりさがまちコンソーシアム運営支援負担金が500千円減少。文部科学省受託事業の障がい者学習実践研究事業を新設したため、指導謝礼が1,844千円増加。	主な増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、30日間施設を閉館したため、公民館施設使用料が986千円、附属設備使用料が17千円減少。

③貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2018年度末 A	2019年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2018年度末 A	2019年度末 B	差額 B-A	
流動資産	未収金	0	0	0	流動負債		160,171	161,579	1,408	
	不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0		地方債	152,365	153,498	1,133	
固定資産	事業用資産	有形固定資産	2,243,022	2,224,914	△ 18,108		賞与引当金	7,806	8,081	275
		土地	1,706,823	1,706,823	0		その他の流動負債	0	0	0
		建物(取得価額)	810,237	810,237	0	固定負債		576,174	420,221	△ 155,953
		建物減価償却累計額	△ 274,038	△ 292,146	△ 18,108		地方債	466,241	312,743	△ 153,498
		工作物(取得価額)	0	0	0		退職手当引当金	109,933	107,478	△ 2,455
		工作物減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	繰延収益		0	0	0	
	インフラ資産	有形固定資産	0	0	0		長期前受金	0	0	0
		土地	0	0	0		負債の部合計	736,345	581,800	△ 154,545
		工作物(取得価額)	0	0	0	純資産		1,512,118	1,648,156	136,038
		工作物減価償却累計額	0	0	0					
		無形固定資産	0	0	0					
	建設仮勘定	0	0	0						
	その他の固定資産	5,441	5,042	△ 399	純資産の部合計	1,512,118	1,648,156	136,038		
	資産の部合計	2,248,463	2,229,956	△ 18,507	負債及び純資産の部合計	2,248,463	2,229,956	△ 18,507		

④貸借対照表の特徴的事項

勘定科目	土地(事業用資産)	勘定科目	建物(事業用資産)	勘定科目	その他の固定資産
決算額の主な内訳	生涯学習センター 1,706,823千円(区分所有 持分100万分の254,148)	決算額の主な内訳	生涯学習センター 778,241千円(専有部分の建物床面積合計 2,630.86㎡) 生涯学習センター陶芸スタジオ 31,996千円	決算額の主な内訳	重要物品(プロジェクター等)2,057千円 出資金((株)町田センタービル株券) 2,985千円
主な増減理由	増減なし	主な増減理由	減価償却により、生涯学習センターが18,108千円減少。	主な増減理由	減価償却により、重要物品が399千円減少。

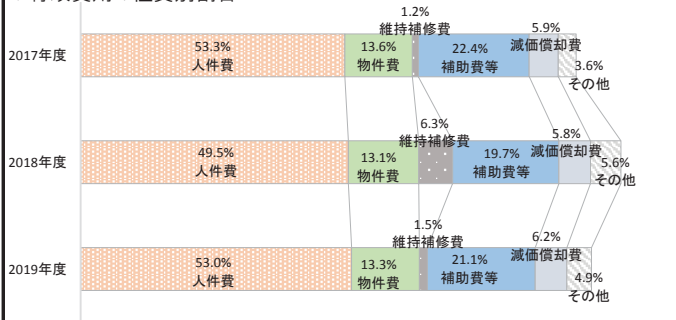
⑤キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	21,963	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	288,848	社会資本整備等投資活動支出	8	財務活動支出	152,365
行政サービス活動収支差額(a)	△ 266,885	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 8	財務活動収支差額(c)	△ 152,365
				収支差額 合計 (a)+(b)+(c)	△ 419,258
				一般財源充当調整額	419,258

5.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



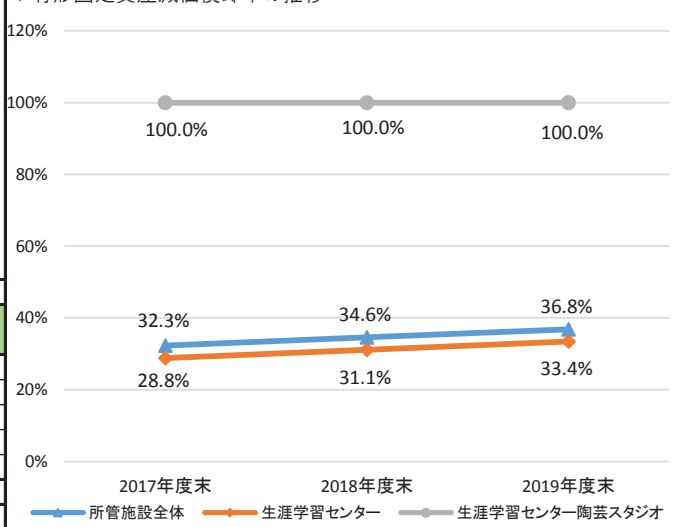
▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用		嘱託	臨時	2019	2018
		(フルタイム)	(短時間)			合計	合計
生涯学習センター-管理事務	3.9	0.5	0.8			5.2	5.4
生涯学習支援事業	3.6	0.2	0.1			3.9	4.2
生涯学習講座事業	5.7	0.2		8.0		13.9	14.0
さがまちコンソーシアム事務	0.1					0.1	0.4
施設管理	0.7	0.1	0.1			0.9	0.0
2019年度 歳出目 合計	14.0	1.0	1.0	8.0	0.0	24.0	24.0
2018年度 歳出目 合計	15.0	1.0	0.0	8.0	0.0	24.0	

6.個別分析

▽有形固定資産減価償却率の推移



7.総括

①成果および財務の分析

- ◆施設利用率は高い水準を維持しており、市内の集会・学習施設中最高利用率となっています。
- ◆QRコードを掲載したPRカードの配布やtwitterによる情報発信の拡充など、施設認知度向上のため、PR活動を強化しました。
- ◆市民提案型事業「まちチャレ」5講座のうち、2講座を新たに地域で実施するなど、地域展開に努めました。
- ◆生涯学習審議会に「生涯学習センターに求められる役割」について諮問し、「誰もが学べる環境づくり」、「課題解決支援」、「学びのすそ野の拡大」、「ネットワークづくりの促進」が重要とする答申を受けました。

②2019年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

- ◆市内に生涯学習センター・公民館が1館しかないため、施設中心の事業展開は利用者が偏る傾向があります。
- ◆施設の認知度向上についても継続して取り組む必要があります。
- ◆生涯学習審議会答申を踏まえ生涯学習センターの役割の明確化と経営資源の有効活用のため、効率的・効果的な管理運営を行う必要があります。
- ◆施設の老朽化に対応するため計画的に修繕を実施していく必要があります。

③課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

- ◆生涯学習センターの認知度向上及び市民が場所や時間の制約なく多様な学習資源に触れることができるよう、学習情報の電子化を進めます。
- ◆身近な場所でのきっかけづくりや地域課題の解決のため、主催事業の地域展開(アウトリーチ)を進めます。
- ◇生涯学習センターの役割、事業内容の見直しを進め、効率的・効果的な管理運営手法への移行を目指します。
- ◇長期修繕計画に基づき計画的な修繕を実施していきます。